



# 浜家連 ニュース

第144号

平成24年(2012)年8月1日発行

○発行 特定非営利活動法人 横浜市精神障害者家族連合会  
〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地  
障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール3F  
電話 045(548)4816 FAX045(548)4836

## 横浜市から24年度要望事項の回答が届きました。

浜家連は事業の一つに政党等と健康福祉局へ要望を行なっていますが、平成24年度の要望事項について下記の通り回答を受領しました。紙面の都合で最重点項目のみ掲載しますが、詳しくはホームページで全文を掲載しておりますので、パソコンでご覧ください。

要望項目	補足説明	回答
<b>【最重点項目】</b>		
1 「重度障害者医療費助成制度」を精神障害者にも適用してください。	精神障害者の公費負担は精神科通院医療費（自立支援医療）のみです。それ以外は精神科入院医療費を含め、合併症である糖尿病、肝機能障害、高血圧、歯の治療などの医療費は全て自己負担30%となり家計を圧迫しています。「三障害一元化」の原則から、これらの医療費について「重度障害者医療費助成制度」を適用してください。 尚、「精神障害者入院援護金制度」がありますが、月額1万円では入院雑費すら賄えない少額です。	神奈川県補助事業である重度障害者医療費援助事業の精神障害者への適用は、神奈川県と具体的な制度設計及び補助率に関して協議を重ねながら、実施の可否を検討していきます。
2 「将来にわたるあんしん施策」を実施するにあたって浜家連と協議の場を定期的に構築してください。	「将来にわたるあんしん施策」にはさまざまな項目が盛り込まれて実施されていますが、精神保健分野ではもう少し具体的な進展を望みます。その為に浜家連との協議の場を定期的に開催して、問題点を協議する機会を構築してください。	将来にわたるあんしん施策は、平成21年度、22年度に横浜市障害者施策推進協議会に、障害者や横浜市精神障害者家族連合会などのご家族なども参画した専門委員会として、横浜市障害者施策検討部会などを設けて、事業の具体化を図りました。平成23年度も引き続き貴会を始めとする障害者団体などへの説明や市民説明会などで伺ったご意見を踏まえ、横浜市障害者施策推進協議会に進捗状況を報告し、議論していただきました。今後も、様々な機会をとらえて、多くの障害者やご家族の皆様からのご意見を伺い、より良い施策を策定していきます。

**【重点項目】及び【国に働きかけてください】の項目の詳細は事務局へお申し出ください。**

## 平成25年度精神保健福祉施策要望書について(要旨)

各単会さんからの要望事項をまとめた、平成 25 年度の要望事項は下記のとおりです。横浜市会の議員団には、理事長以下 11 名から 17 名の方が参加して要望事項が実現するように説明しました。

紙面の都合で補足説明と資料編が掲載できませんので、詳細は事務局へお申し出ください。

### 【最重点項目】

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1 福祉特別乗車券は現行制度を維持して下さい。             |
| 2「重度障害者医療費助成制度」を精神障害者1・2級にも適用して下さい。 |

### 【重点項目】

- |  |
|--|
| 1 自立支援医療(精神通院)の医師診断書を無料としてください。  |
| 2 合併症を受け入れる病院を拡充してください。  |
| 3 「将来にわたるあんしん施策」に規定する「緊急時ホットライン」を 24 時間・365 日ワンストップのものとして早急に整備してください。                        |
| 4 多職種による訪問医療や地域生活支援の体制を構築してください。   |
| 5 「将来にわたるあんしん施策」の「障害者後見的支援制度」を早急に全区で実施してください。  |
| 6 各区の福祉保健センターが把握している精神障害者の人数に応じた適切なソーシャルワーカーの配置をお願いします。その上で訪問活動を強化してください。また可能な限り異動をひかえてください。 |
| 7 「自立生活アシスタント派遣事業」を早急に拡充してください。  |
| 8 精神障害者にも24時間・365日職員がいるケアホーム設置してください。  |
| 9 小学校・中学校で精神障害についての学習時間を増やしてください。また、スクールカウンセラーを中心として早期発見、早期治療の体制を整備してください。またPTAにも広めてください。    |
| 10 一般市民に対しても「こころの健康作り」の啓発事業を実施してください。  |
| 11 大規模災害の時に障害者(弱者・(精神)も含む)に情報がきちんと伝わる方策を構築してください。又避難場所の運営に特段の配慮をしてください。                      |

### 【国に働きかけてください】

- |  |
|--|
| 1 自立支援医療における非課税世帯の利用者負担を早急に無料にして下さい。                             |
| 2 障害基礎年金の金額を障害者が生活できる金額に増額するよう厚生労働省に要望してください。                    |
| 3 無年金障害者を救済するため「特別障害給付金」の支給範囲を拡大し、すべての無年金障害者を給付対象とするよう働きかけてください。 |
| 4 国土交通省にJR、私鉄、高速道に精神障害者にも割引制度を適用するよう働きかけてください。                   |



演奏するミュージックベル



手話劇「桃太郎」

## ☆☆☆ 統合失調症の治療・家族に期待することに参加して ☆☆☆

たちばな会 田口 圭子

7月21日(土)新しい鶴見区民文化センターの素晴らしいサルビアホールで開かれたAブロックフォーラムは何でも新しく新鮮で印象的でした。まず米倉浜家連新理事長の挨拶、新しく出来た鶴見区生活支援センター芳垣所長のご挨拶がありました。(保土ヶ谷生活支援センター所長時代に私達たちばな会では大変お世話になり、懐かしい思いでした。)

第1部「音楽と劇」は地域活動支援センターれんげの家のメンバーによる優しい透きとおるベルの音色で始まりました。みんなが一生懸命演じて、それを聴いている私たちに伝わりました。次に自然館のメンバーによる手話劇「桃太郎」がダイナミックに演じられました。とても楽しそうで、一度見学に寄せていただいた時のパンやカレーの味と共にあの家が思い出されました。

第2部の野末浩之先生の講演は癌や糖尿病などの病気の人をはるかに超えて323万人の精神疾患の人がいる日本で、自死は死亡率の7位になっており、その9割が精神疾患だったと思われるとのショックなお話で始まりました。先生は鶴見地区で長年多くの精神疾患の患者と向き合い、家族も交えて精神障害の本質である生活のしづらさの改善を工夫され、SSTを含む認知行動療法を積極的に取り入れられておられます。家族には・正しい知識を持って・スキルを磨いて・楽観主義で・困難には連帯で・自分の時間を充実して、と講演されました。

講演の後半では、家族SSTのミニセミナーをやってくださいました。家族SSTを長年やっておられる方がリーダーとなり、壇上に上がった数人の参加者に「最近どんな嬉しい事がありましたか」と問いかけ～うれしい気持ちを伝える、ちょっとした変化は大きな変化に必ずつながると信じる。～答える時は

—①相手の顔を見る、②理由を言う—「・・・してくれてありがとう。」③自分がどんな気持ちになったかを伝える。ポイントは「ありがとう」に加えてうれしい気持ちを表す言葉を添える。

本人を理解すること。病気を理解すること。だから病気の勉強とコミュニケーションの練習をすることが大切です。皆と一緒に練習しましょう。そしてその他の家族に伝えていこうと締めくくられました。

何度聞いても分かっているはずなのに、いざという時に違った反応をしている私は「やはり練習が足りないな。」と練習の大切さを感じながら、充実した講演会場をあたたかな気持ちで後にしました。

### ◎◎◎ 家族による家族学習会開催のお知らせ ◎◎◎

平成24年度も下記の通り「家族による家族学習会」を開催します。今年度も以下の区で実施します。お住まいの区の福祉保健センターか今年度実施の区の福祉保健センターへお問い合わせください。参加される方は、原則として5回全てに参加できる方です。毎回同じ方が参加しますので、会を重ねる毎に親密さが増してきます。参加されますと、病気について体系的に勉強出来ますし、話し合いによってご自身も今まで抱えていた気持ちから少しは開放されて楽になります。(参加者のアンケートから)

実施する区	実施時期	曜日	場所	時間
南区 (みなみ会)	25/1/13・1/27・2/10・2/24・ 25/3/3	いずれも日曜日	浦舟ケアプラザ1階 ボランティアルーム	1:30～4:30
保土ヶ谷区 (たちばな会)	9/28・10/6・10/13・10/20・ 10/26	9/28(金)・10/26(金) 他の日は土曜日	保土ヶ谷かるがも 3階多目的研修室II	1:30～4:30
金沢区 (あおぞら会)	11/3・11/17・12/1・12/15・ 25/1/12	いずれも土曜日	いきいきセンター 金沢2階会議室	1:30～4:30
鶴見区 (のぞみ)	現在検討中です。			

参加費 無料 但し、テキスト代800円は個人負担になります。(ホームページでもご覧いただけます)

詳細は実施する家族会にお問い合わせください。既に募集が始まっている区もあります。

1単会7名～10名位の参加者という限りがありますので、お早めにお申し込みください。

# イベントのお知らせ

## § 1 家族会研修会（24年度第3回）（ホームページでも公開しています。）

日時 平成24年9月20日（木）  
時間 午後1：30～午後4：00（開場午後1：00）  
場所 横浜ラポール 2階 大会議室  
参加費 無料（事前申し込み不要）当日直接会場へお越し下さい  
演題 発達障害について  
講師 佐藤 賢治 氏（オフィスウイング所長 社会福祉士）  
定員 100名 但し席数に限りがあります。出来るだけ早めにお越しをお願いします。  
送迎バス 無料送迎バスが新横浜北口から00分と30分に出ていますので、ご利用ください。

## § 2 Bブロックフォーラム

日時 平成24年9月17日（月・祝日）  
時間 午後1：00～午後4：00  
（開場12：30）  
場所 旭区公会堂 参加費 無料  
1部 講演  
演題 精神科医として、  
そして統合失調症者の子供として  
～これからの家族支援を考える～  
講師 夏苺 郁子 先生  
（<sup>みち</sup>やきつべ徑診療所所々長）  
2部 先生を囲んで座談会  
定員 450名（事前申し込み不要）  
当日直接会場へお越し下さい

ホームページでも公開しています。

## § 3 あいの会講演会（港南区家族会主催）

日時 平成24年8月20日（月）  
時間 午後13：30～16：30  
場所 港南区社会福祉協議会 3階  
多目的研修室  
演題 精神障害者が暮らしやすい社会にするために  
講師 みんなねっと（公益社団法人全国  
精神保健福祉会）  
事務局長 良田 かおり 氏  
参加費 無料 予約なし

### 編集後記

オリンピックが始まりました。寝不足に気をつけて体力維持に努めてください。

## § 4 第18回市民メンタルヘルス講座

“みんなで考えよう こころの健康 ～一人でできること 社会ができること～”

日時 平成24年10月17日（水）・24日（水） [2日間]  
両日とも午後6時30分～午後8時50分（開場午後6：00）  
会場 横浜市健康福祉総合センター 4階 ホール  
内容 10月17日（水） = 1日目 =  
講師 笠井 清登 先生（東京大学医学部付属病院精神神経科 教授）  
～こころの健康を考えるー思春期とこころの発達～  
10月24日（水） = 2日目 =  
講師 福田 正人 先生（群馬大学大学院医学系研究科 准教授）  
～地域社会で実現するこころの健康～

要予約（聴講券をお送りします。） 申し込み締め切り 10月5日（金）必着

申し込みFAX番号 045-548-4836 郵便の場合は1面の住所へ郵送ください。

ホームページでも公開しています。

## ☀ ☀ ☀ 浜家連事務局の夏休みのお知らせ ☀ ☀ ☀

猛暑日が続きますが、この時期事務局も夏休みを取りますのでご承知ください。

**期間 平成24年8月13日（月）～17日（金） 1週間です。**

留守電対応になりますので、ご不便をお掛けしますがご容赦ください。